審議概要

(1)地下鉄を利用した逸品探し街歩き体験ゲーム

▷ 採点結果 総合評価点: 2.41《採用》

▶ 助成金 上限 450,000 円

審議概要 若林区の食や歴史に触れながら、区民との交流の場を図ることは、本助成事業の目指す趣旨と合致しており、昨年度の反省を踏まえて、実施方法の改善を行い、工夫されている点は高く評価した。一方で、まちづくりの視点よりもゲーム性・イベント性が強い印象を受けたので、参加者がゲームを楽しむだけでなく、若林区に興味を持ってもらう仕掛けづくりを工夫していただきたい。また、今後継続して活動を続けていくためにも、より多くの方に周知す

組織の運営体制について検討をお願いしたい。

る広報の仕方と、メンバー内での役割分担や他団体との連携など

(2) 荒町エリア魅力発信事業

▶ 採点結果 総合評価点: 2.87《採用》

▶ 助成額 上限 450,000円

▶ 審議概要 3回目の助成ということで、これまでの積み重ねを踏まえた上で事業を計画されており、様々な方が関わりながら荒町の魅力向上に取り組んでいる様子を高く評価した。500,000 円の申請に対して、450,000 円の助成額としたことについては、協賛金や外部資金の獲得などを検討していただき、今後の自立した持続的な事業展開への

期待を込めて減額とした。

(3) 貞山運河の魅力アップ事業

▶ 採点結果 総合評価点: 2.36 《採用》

▶ 助成額 上限 268,000円

▶ 審議概要 貞山運河やその周辺環境が持つ魅力に触れ、広く発信していくことは、地域の魅力向上に繋がることから評価できるが、本事業のそれぞれの企画がどのような関連性を持って展開されていくのか疑問が多々あったため、再度事業計画の見直しを行っていただきたい。具体的には、①「曳舟体験」と文化祭と称する「ポエムツアー」・「演劇教室」との関連性について、②馬舟を屋形舟に改修する必要性、③事業の運営体制の見直し、④広報・情報発信への注力についてご

確認いただきたい。

(4) 連坊オモシロ街あるき

▶ 採点結果 総合評価点: 2.04《採用》

▷ 助成額 上限 203.100円

▶ 審議概要 連坊の魅力を広く知ってもらい、まちへの愛着を育みたいとする熱意は大いに感じ取れた。当初は、基準点を下回ったが、助成をすることで、魅力あるまちづくりに繋がっていく今後の期待を込めてボーナス点を加味しての採択とした。一方で限られたスタッフで動画制作、街あるきを行う事業計画と運営体制については、疑問の声があったので、1年目は街あるきのコンテンツ開発を重点的に行っていただき、荒町エリアの事例を参考にじっくり取り組んでいただき

(5) 残そう深めよう広めよう「仙台弁で民話を語る」その1

▶ 採点結果 総合評価点: 1.71《不採用》

たい。

▶ 審議概要 民話を通して仙台弁を後世に伝えていく活動は大変意義があり、趣旨は理解できるとの声があった。一方でDVDを配布することが仙台弁を伝える手法として最適かどうか疑義が生じ、コンテンツの発信の方法と、効果的な活用の仕方を再度見直す必要性があることから不採択とした。取り組み自体は素晴らしいものなので、今年度は企画内容を今一度整理していただき、準備期間に充てながら、来年度の助成にチャレンジしていただきたい。